



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成27年4月28日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX(0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第40号



宝達中学校開校式並びに入学式

主な記事
.....→

■27年第1回定例会 2

■国会議員への要望活動 5

■一般質問(4名) 6

■委員会ノート 8

■町議会日誌..... 10

平成27年度予算決定

総額143億2,665万2千円

平成27年
第1回

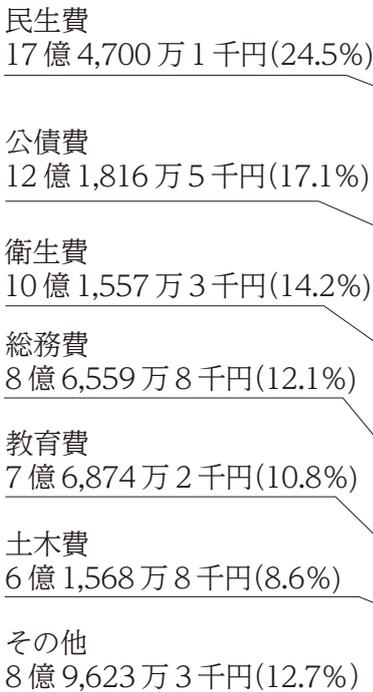
定例会

3月6日~16日

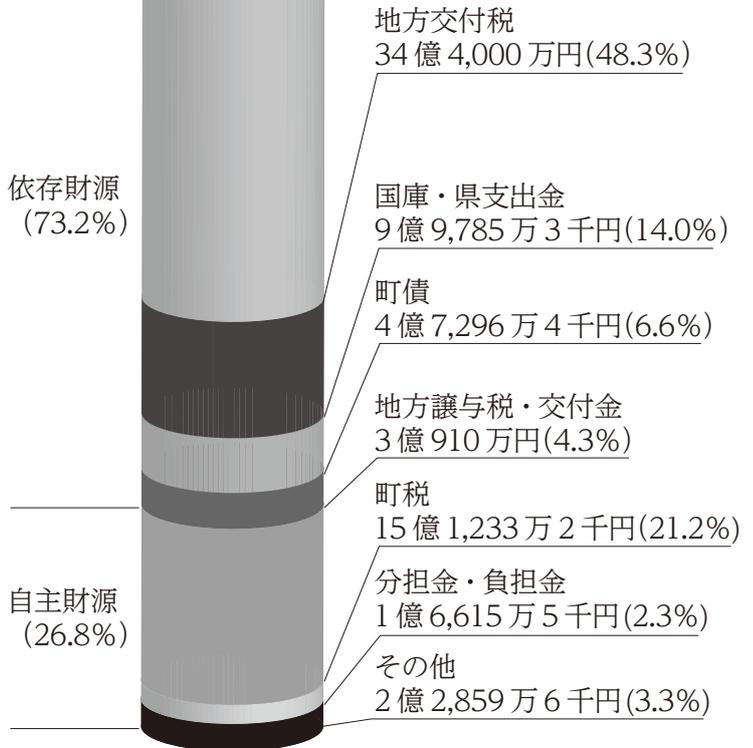
平成27年度予算は、地方財政計画を踏まえつつ、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を受けて取りまとめられた、国の補正予算による地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、地方創生・人口減少対策に取り組んでいくほか、子育て・福祉・教育施策の充実、防災・減災対策の強化など、限られた財源の中でこれら諸施策に取り組むべく予算編成を行いました。

一般会計予算 71億2,700万円

歳出



歳入



◎ 歳出（その他）の内訳

- 農林水産業費 3億2,273万9千円
- 消防費 2億7,607万5千円 商工費 1億6,083万円
- 議会費 1億744万円 災害復旧費 1,107万2千円
- 予備費 1,000万円 労働費 807万7千円

◎ 歳入（その他）の内訳

- 繰入金 9,352万6千円 諸収入 7,990万5千円
- 使用料及び手数料 5,048万5千円
- 財産収入 467万7千円 寄付金 2千円
- 繰越金 1千円

会計名		27年度予算額	対前年度増減額	比率	採決状況
一般会計		71億2,700万円	▲21億9,300万円	▲23.5%	賛成9人、反対1人
特別会計	国民健康保険	18億4,993万5千円	1億493万5千円	6.0%	賛成9人、反対1人
	後期高齢者医療	1億7,763万9千円	▲611万1千円	▲3.3%	賛成9人、反対1人
	介護保険	17億5,984万円	▲3,431万2千円	▲1.9%	賛成9人、反対1人
	国民健康保険直営診療所	4,285万4千円	40万円	0.9%	全員賛成
	ケーブルテレビ事業	9,839万2千円	▲1,056万8千円	▲9.7%	全員賛成
企業会計	水道事業	5億298万2千円	▲1,053万9千円	▲2.1%	賛成9人、反対1人
	下水道事業	14億8,367万1千円	757万3千円	0.5%	賛成9人、反対1人
	国民健康保険 志雄病院事業	12億8,433万9千円	▲1億5,573万7千円	▲10.8%	全員賛成

主な事業・施策

1. 総合的なまちづくりの推進

○広報広聴事業費 398万6千円

2. 生活環境の整備

- 交通安全対策費 482万4千円
- 街灯設置管理費 1,322万8千円
- 消防施設整備事業費 707万円
- 災害対策事務費 1,398万円
- 新交通政策推進事業費 5,481万6千円



コミュニティバスを試験運行

○ごみ収集事業費 5,093万円

3. 保健・医療・福祉の充実

- 若者等定住バックアップ事業費 1,300万円
- 障害者自立支援給付事業費 3億1,132万1千円
- がん検診推進事業費 1,326万8千円
- 児童手当給付事業費 1億9,134万円
- 子育て支援事業費 3,225万7千円
- 医療機械器具購入費（志雄病院） 3,160万円
- 新病院建設事業費（志雄病院） 3,530万円

4. 教育・文化・スポーツの充実

○小学校施設整備事業費 1億1,880万円



改修される小学校体育館の吊り天井

○国際交流事業費 561万1千円

5. 産業の振興

- 商工団体育成費 4,000万円
- 宝達山整備事業費 2,328万4千円
- 震災対策農業水利施設整備事業費 4,800万円

6. 都市基盤の整備

- 道路整備事業費 1億4,680万円
- 上水道事業建設改良費（老朽管更新事業） 7,085万円
- 公共下水道事業建設改良費
 - （今浜処理区）4,800万円
 - （樋川処理区）5,400万円
 - （志雄処理区）5,700万円

7. 行財政改革の積極的な推進

○公共施設総合管理計画策定 510万3千円



定例会開会中の議場内

◎平成26年度補正予算
関係

(直営診療施設勘定繰出
金など)

○一般会計補正予算(第
7号)

歳入歳出それぞれに
694万7千円を増額
するもの。

(地方版総合戦略策定事
業費、償還元金など)

○国民健康保険特別会計
補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれに
7万8千円を増額する
もの。

〔全員賛成〕

○後期高齢者医療特別会
計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれに
14万円を増額するもの。
(保険料還付金)

〔全員賛成〕

○介護保険特別会計補正
予算(第5号)

歳入歳出それぞれか
ら9239万6千円を
減額するもの。

〔全員賛成〕

○下水道事業会計補正予
算(第3号)

収益的収入から22
79万4千円、収益的
支出から1482万5

〔全員賛成〕

○水道事業会計補正予算
(第3号)

収益的収入から60
6万7千円を減額する
もの。
(他会計補助金)

〔全員賛成〕

(施設管理費)

〔全員賛成〕

○ケーブルテレビ事業特
別会計補正予算(第2
号)

歳入歳出それぞれか
ら702万4千円を減
額するもの。
(施設管理費)

〔全員賛成〕

(一般会計繰出金)

〔全員賛成〕

○国民健康保険直営診療
所特別会計補正予算
(第3号)

歳入歳出それぞれに
325万8千円を増額
するもの。

〔全員賛成〕

(介護サービス等給付費
など)

〔全員賛成〕

○国民健康保険志雄病院
事業会計補正予算(第
4号)

収益的収入から49
57万2千円、収益的
支出から4492万6
千円を減額、資本的収
入に1000万円を増
額するもの。

〔全員賛成〕

(入院収益、雑支出、企
業債など)

〔全員賛成〕

◎条例関係

○宝達志水町若者等定住
バックアップ条例の一
部を改正する条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町指定介護予
防支援等の事業の人員
及び運営並びに指定介
護予防支援等に係る介
護予防のための効果的
な支援の方法に関する

〔全員賛成〕

基準を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町地域包括支
援センターの包括的支
援事業の実施に関する
基準を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町指定地域密
着型サービス事業者等
の指定に関し必要な事
項を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町指定地域密
着型介護予防サービス
の事業の人員、設備及
び運営並びに指定地域
密着型介護予防サービ

〔全員賛成〕

○宝達志水町介護保険条
例の一部を改正する条
例

〔賛成9人、反対1人〕

守田幸則議員に感謝状を伝達

第1回定例会の開会に先立ち、宝達志水町
議会議長の退任にあたり、石川県町村議会議
長会から守田幸則議員に感謝状が伝達されま
した。



○宝達志水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町保育の実施に関する条例を廃止する条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町保育所条例の一部を改正する条例

〔賛成9人、反対1人〕

○宝達志水町保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例

〔賛成9人、反対1人〕

○宝達志水町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕



入会対象者が小学校の全児童に拡大される放課後児童クラブ

○宝達志水町町営住宅管理条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

〔賛成9人、反対1人〕

○宝達志水町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

〔賛成9人、反対1人〕

○宝達志水町小学校及び保育所統廃合検討委員会条例

〔賛成9人、反対1人〕

○宝達志水町体育施設条例の一部を改正する条例

〔賛成9人、反対1人〕



多目的運動広場として活用される押水運動公園野球場

◎計画関係

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

〔全員賛成〕

◎町道関係

○町道路線の認定

・二口5号線

・紺屋町5号線

・南吉田9号線

〔全員賛成〕

◎平成26年度補正予算関係(専決)

○一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれに594万円を増額するもの。

〔全員賛成〕

◎議会議案

○宝達志水町議会の議員

及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

〔賛成1人、反対9人〕

○宝達志水町議会委員会条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕

◎総務産業建設常任委員会

副委員長 小島昌治

◎議会改革特別委員会

副委員長 守田幸則

監視カメラ設置事業について要望

議会運営委員会

町議会運営委員会は3月19日、北村茂男環境副大臣に、「不法投棄監視パトロール業務等の支援における不法投棄監視システム(監視カメラ)設置の恒久化について」の要望書を提出しました。

現在、本町では不法投棄監視員4名を配置し、町内一円のパトロールを行い監視にあたり、国が実施している「不法投棄監視通報システム設置事業(監視カメラ)」により不法対策を講じています。ただし、この事業は1団体あたりの設置が3か月という期間の限りがあり、十分な監視に至っていないという実情があります。

要望書では、期限付き貸出のものを、恒久性のある監視カメラ設置に対する財政支援、及び貸出におけるカメラ台数の増加など不法投棄の抑止と撲滅のため、更なる対策の強化を要望する内容となっていました。

要望には、北信幸委員長をはじめ委員4名と林一郎議長、津田達町長が参加し、北村茂男環境副大臣に要望書を手渡しました。



北村茂男環境副大臣に要望書を提出

質問 いっばん

特別措置法の施行に伴う 今後の空家対策への取り組みは

町長
空家の実態把握から取り組みたい



久保喜六

問
「空家等対策の推進に
関する特別措置法」
に対しての本町の取
組みは

答 町長

近年、地域における人口減少や既存住宅、建築物の老朽化、居住その他の使用がないことが常態している住宅等が年々増加していることは認識している。

空家対策については、これまでは条例を制定し対応することとしていたが、今回の特別措置法では、市町村等の地方公共団体は、適切な管理が行われていない空家等に対して、必要な助言、指導、勧告、命令等を行い適正な管理を促すことが可能となった。

また、この法律により空家情報の所有者等を把握するために固定資産税情報の内部利用等が可能となった。



年々増加する空家

空家等がもたらす防災、防犯、生活環境および景観の保全上などの問題が多岐にわたり、また、解決すべき課題も多く、総合的かつ全庁的に対応するための体制づくりや、国などの財政措置や税制上の措置を考慮した施策の充実が必要である。

この法律では、国の基本指針に即した空家等対策計画の策定が必要であることから、まずは、新年度に空家の実態把握から取り組みたい。

ふるさと納税の寄附者に、 魅力ある返礼品やサービスの設定を

町長
地域活性化や地場産業の振興に寄与するものを考えたい



寶達典久

問
ふるさと納税増額への
取組について

答 町長

ふるさと納税は、ふるさとに貢献したい、また、ふるさとを応援したいという納税者の思いを、寄附金という行為で表すものであり、平成20年度にその制度が創設された。

本町では、制度創設後、パンフレットやホームページによるPRにてその周知を図り、ふるさと納税をお願いしてきたところ、ふるさと納税の金額はここ数年、年間200万円から400万円で推移しています。

ふるさと納税の用途については特に定めてはいませんが、寄附者が用途を指定される場合は、寄附者の思いを反映した事務事業に活用したいと考えている。



周知用パンフレット

答 企画振興課長

ふるさと納税の寄附件数と金額について、平成20年度は23件で195万5千円。平成21年度は23件で254万5千円。平成22年度は20件で266万5千円。平成23年度は23件で259万2千円。平成24年度は24件で432万9千円。平成25年度は21件で361万6千円。

今後は、国からの節度ある運用内容を注視しながら、ふるさと納税の財源が多岐の事業に充当できるよう、また返礼品やサービスが地域活性化や地場産業の振興にも寄与できるように、その仕組みづくりを考えていく。



柴田 捷

今後の財政運営方針は

町長

効率的・効果的な施策の展開で歳出の縮減を図りたい

から、平成27年度に終期を迎える行財政改革大綱の見直しをはじめとして、人口減少克服と地域経済活性化策を盛り込んだ地方版総合戦略や公共施設の統廃合、適正配置、長寿命化などの公共施設等

新幹線開業後の誘客状況や課題の検証は、今後策定する町の総合戦略において、計画↓実行↓評価↓改善というサイクルを本格的に稼働し、今後の発展につなげたい。

- 問**
- ①当初予算と財政展望について
 - ②移住・定住促進について
 - ③交流人口の拡大について

総合管理計画を策定し、これを基に効率的・効果的な施策を展開し、歳出の縮減を図っていききたい。②平成27年度に策定する町の総合戦略の中で重要な課題と位置付けたいと考えている。

答 町長
①平成27年度当初予算は、交付税の合併算定替え特例期間が終了し、普通交付税の減少が見込まれることから、従来以上に編成に苦慮した。

今後も国の財政支援等を有効に活用し、「空家対策」、特に「移住希望者の住宅確保のための対策」、さらには「町をPRするための様々な情報発信」、「医療や子育て支援」などに施策を講じていきたい。

今後、歳入不足を解消し収支均衡を図っていくためには、これまで以上の行財政改革による事務事業の見直しはもとより、新たな財源の確保が必要不可欠となってくることから、平成27年度に終期

③北陸新幹線金沢開業という絶好の機会を逸することなく、金沢から30分圏内という地の利をPRするとともに、町の貴重な地域資源を活用した施策を展開していきたい。

若者への住宅供給のため 雇用促進住宅の買い入れを

町長

現時点では、財政的な面を考慮すると難しい



小島昌治

①町商工会の経営指導員が小規模企業の実態把握に努めており、今後も町と商工会が連携し情報を共有・提供しながら、どのような関与ができるか検討していきたい。

⑥政府は内外の構造改革を一体で進めていくことにより、日本の競争力を高めていくとも述べているが、先行きが不透明なところもあり、動向を注視していきたい。

- 問**
- ①第186国会で成立した小規模企業振興基本法の具体化に向けて
 - ②第6期介護保険の介護保険料について
 - ③若者定住と空家対策について
 - ④65歳をこえた障害を持つ方々の医療費の支払いについて
 - ⑤後期高齢者医療における「特例」を廃止に意見を
 - ⑥安倍政権の「新農政、PPP、農協改革は3本の毒矢」と農協関係者が指摘している。町長の認識を問う

の軽減を図ることとしており、現在の町の財政状況を考慮すると、法定外の繰り入れはできない。③町内2か所の雇用促進住宅の買い入れは、現時点では、財政的な面を考慮すると難しい。④自己負担額の全額を支給している中で、助成方法を「償還払い」から「現物給付」に変更することにより、県の補助金が交付されなくなることから、町の財政状況を考慮すると、現在は変更を考慮していない。⑤後期高齢者医療制度は、石川県後期高齢者医療広域連合が保険者として実施していることから、町単独ではなく、町長会などを通じて要望していきたい。

委員会ノート

第1回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問新規就農総合支援事業の事業内容は。

答45歳未満の新規就農者を対象として、就農前2年間と就農後5年間に限り一定額を給付するもの。

問農地集積に対する助成制度はあるのか。

答農地の中間的受け皿である農地中間管理機構を通して農地を集積した場合、出し手側を支援する制度がある。

問交流人口の増加を図るためには、町内で買い物等をした観光客を対象にガソリン代の一部を助成するのではなく、町内でしか手に入らない物や、体験できないことに付加価値を付けるような助成をすべきでは。

答今回の助成は、レンタカーの利用者を対象に、まず宝達志水町に寄ってもらい、何らかの消費をしてもらうことを目的とした。今後は町の資源を活用したふるさと製品の製作、販売への支援も検討していきたい。

問利用者数をどの程度見込んでいるのか。

答1000台分を当初予算に計上。

問助成の仕組みは。

答レンタカー利用者が町内で何らかの消費をしたという証明をガソリンスタンドで提示し、リッター50円引きで給油する。その後、ガソリンスタンドから町へ値引き分を請求してもらう予定。

問老朽化した町消防団第3分団、第4分団の消

防ポンプ車の更新を早急に行うべきでは。

答人口減少に伴い、多様化していく消防団員の形態や方向性なども考慮した上で、更新をしていきたい。

問分団を統合した後で更新するという事か。

答消防団の組織見直しと消防ポンプ車の更新は分けて考えていただきたい。

問町指定金融機関を北國銀行とする特段の理由はあるのか。

答ない。

問地域商品券のプレミアム金額を千円から2千円に増額した理由は。

答地域商品券発行事業には国からの交付金を充当しており、要綱では限度額が2千円となっており、2千円の方がより消費喚起が見込ま



プレミアム率が20%になる地域商品券
※写真は昨年度のもの

問最長3年。

問任期満了後、協力隊に定住してもら

うようなサポート体制を考えているのか。

答来て良かったと言われよう、精一杯サポートしていきたい。

問消火栓用ホースの点検を消防署に依頼できないか。

答集落の自主防災組織等に、定期的な通水作業を行うよう協力を求めていきたい。

問消防水利の標識や支柱の更新は、集落要望を待つのではなく、町が計画的に整備していく必要があるのでは。

答対応していきたい。
問県から供給される水道水の受水量の引き下げによって削減できる支出額は。



志雄浄水場

答試算上は約400万円。

問町浄水場の水源井から採取する自己水だけで、町全体の水道使用量を賄えないのか。

答足りないと考えている。
問地方版総合戦略策定に係る委託業務の内容は。

答町の人口の現状分析及び将来の動態調査業務と、この調査を基にした総合戦略の策定業務とがある。

問策定委員会の委員構成は。
答現時点では決まっていないが、幅広い分野からの人選を考えている。

教育厚生常任委員会

問 民生児童委員が活動していく上での今後の課題は。

答 高齢化や支援を必要とする方の増加に加え、災害時における支援も求められるなど、負担が増している。

問 押水図書館を埋蔵文化財の保存・展示施設に整備することのだが、開館の時期は。

答 27年度に整備に関する事業計画を策定し、28年度に着工する予定。開館は早くても29年度になる。

問 整備の内容は。

答 国との協議の中で今後、詳細を詰めていく。

問 整備期間中の施設の使用は。

答 できない。

問 心身障害者への医療費の助成対象範囲は、医療保険点数内ものに限られるのか。

答 医療保険適用分に限ら

れる。

問 在宅当番医制事業に係る負担金の積算根拠は。

答 羽咋市内の1市2町で負担しており、金額は均等割と人口割で算出。

問 宝達中学校の図書室が一般開放される時間帯は。

答 平日は午後4時から午後6時まで。土、日、夏季休暇等は午前9時から午後6時まで。

問 在宅医療・介護連携推進事業の拠点となる支援センターの体制は。

答 志雄病院内に設置し、病院の保健師と健康福祉課職員が連携し取り組んでいく。

問 奉祖見霊園内の枯れた松は伐採しないのか。

答 26年度は墓石に影響を及ぼすおそれがあるものを伐採。27年度に残りを伐採する予定。

問 のと里山海道今浜IC、米出IC付近における

ごみのポイ捨て対策は。

答 不法投棄禁止看板を設置するとともに、悪質な事例は警察と連携して対応している。

問 勤労青少年ホームの外壁等の改修予定は。

答 27年度に策定する公共施設等総合管理計画の中で、在り方も含め検討していきたい。

問 成人式の会場内において、保護者にも写真撮影ができる時間帯を設けられないのか。

答 集合写真の撮影後に時間を設定するよう検討していきたい。

問 末森城跡周辺の更なる整備計画は。

答 景観の保全や休憩用の椅子、案内看板の設置を考えている。

問 U・Iターン奨励金支給制度の復活は。

答 予定していない。

問 管外保育制度の利用者数は。

答 27年度は7名の予定。

問 同時入所の第2子保育料無料化は、同一保育所への入所が条件となるのか。

答 異なる保育所等への入所も対象となる。

問 不妊治療費助成による成果は。

答 7割の方が妊娠している。

問 学校内でいじめはあるのか。

答 あったが、早急に対応し重大な事案には至っていない。

問 近年の人件費、燃料費等の高騰が原因。押水運動公園野球場の

今後の活用法は。

答 幅広い用途で使用できる「多目的運動広場」として運用する。

問 学校給食費に異物混入などへの対策費は含まれているのか。

答 含まれていないが、対策マニュアルの作成に取り組んでいる。

問 小学校及び保育所統廃合検討委員会からの答申はいつ頃になる見込みか。

答 委員会を設置したからすぐに結論という訳ではなく、まずは方向性を検討していきたい。

病院運営特別委員会

問 押水クリニック建設時に借り入れた地方債の返済期間は。

答 平成45年度まで。

問 残高は。

答 約6300万円。



志雄病院医師住宅

考とし、ある程度の努力目標も加味し人数を積算。

問 医療機器購入費が予算計上されているが、新病院の開院まで待てないのか。

答 誤診防止のため、どうしても必要なものだけを購入する。購入した機器は新病院でも引き続き使用する。

問 使用されていない医師住宅の今後の取り扱い方針は。

答 いつでも医師が使用できる体制は整えているが、将来的には新たな活用策も検討しなければならない。

